

※両市場とも  
十日祝・市場休を除きます



## 農業の未来を拓く！新規就農者



**長尾 泰孝さん (33)**  
 【園地所在地】青森市浪岡北中野  
 【作付状況】りんご・3.8畝  
 【就農年】2021年  
 【きっかけ】青森市の出身で、大学進

農業に大きな夢と希望を抱いて就農した人。スボットを当て、紹介します。農業の未来を切り拓く就農者を弘果グループは応援します。

学を機に上京しました。大学卒業後は都内のIT関連の企業に就職し、充実した日々を過ごしていました。そのような生活が続く中、ある一冊の本に出会い、青森県りんご栽培技術が進化していることを知り、非農家出身でりんごに縁がなかったにもかかわらず、興味を持ちました。色々と調べていくうちに、新しいことに挑戦したいという意欲が湧き、今の暮らしと比べても無謀な挑戦だと思いましたが、青森県に就農相談する等、すぐ行動に移しました。そして県を通じて、浪岡地区のりんご生産者（今でも師匠と仰いでいます）を紹介してもらい、研修を開始しました。研修中は、師匠の厳しい中にも愛がある指導のおかげもあり、独立就農に向けての知識経験を積むことが出来ました。また、今後独立した際は、両親の協力も必要であるとの師匠の勧めもあり、途中から両親と一緒に研修を行いました。2年間の研修後、師匠から斡旋していただいた1.8畝のりんご園地を取得し、生産者としてスタートしました。

【現在】「園地をデザイン、アップグレードしていく」と言えば大げさかも知れませんが、既存の丸葉、新たに取り組んだワイ化、その



田舎館いちご研究会の皆さん

### 田舎館いちご現地検討会・目揃え会開催



田舎館いちご研究会（白戸弘樹会長）は12月2日、クリスマスや年末年始の出荷最盛期に向けて現地検討会、目揃え会を行いました。同会が主催するいちごは、平成28年から田舎館ご当地キャラクター「いち姫」がデザインされたパッケージをまと

多様なメニューを提案するキッチンカー13台が出店し、目当ての味を求めて行列ができています。会場者は「毎年『カニ大鍋』を目当てに早朝から並んでいます。ほかにも模擬競りやマダロ解



威勢の良い掛け声が響く文字絵りんごの競売

### 創作文字絵りんご研究発表会

りんごの研究発表会が行われました。来年の干支「午」や招き猫、クリスマス関連の絵柄が入った61種類234点の作品が展示され、競売では七福神や松竹梅等、縁起物の文字絵が入ったムツ17個で構成された「宝船」が当日最高値の15万円で取引されました。

当社第2卸売場特設会場において11月22日、弘前市下湯口の岩崎智里さんが手掛けた文字絵

### 第28回

## 弘前市場まつり 大盛況!



巨大鍋で煮込まれる「カニ大鍋」



紅白餅まき

第28回弘前市場まつりが11月23日、弘前水産地方卸売市場で開催されました。同まつりは、弘前市場まつり実行委員会が「より親しまれる身近な総合市場」をPRしようと毎年11月の日曜に開いてきたもので、今年で28

目を迎えます。当日は、開催を期待していた人々で賑わい、約2万1千人が来場しました。名物となった3メートルの大鍋で煮込まれた約3千食分の「カニ大鍋」の振る舞い、セモノーでは「紅白餅まき」、各会場においては、魚介類、野菜、果物、花き等の販売、みかんの詰め放題、巨大アップルパイの実演販売、マダロ解体実演販売、模擬競り等が行われまし



活気あふれる模擬競り



数量限定の海鮮丼は大人気で即完売



行列ができるキッチンカーのブース

体実演販売など、市場の雰囲気を堪能できるイベントが盛りだくさんで心が躍りました。来年の市場まつりも今から楽しみです」と話していました。

### りんご剪定勉強会 開催のお知らせ

弘果りんご連絡協議会 ※葉とらずぶじの剪定は各地区にて開催します

**浪岡**  
 1月6日（火）9時30分～  
 場所：小笠原昇氏 園地  
 講師：安田修明氏、太田直人氏、小笠原昇氏

**平賀**  
 1月8日（木）9時30分～  
 場所：桑田毅氏 園地  
 講師：葛西肇氏、山田敏彦氏

#### 大紅棠

1月13日（火）9時30分～  
 場所：(有)ヤマセ農園 園地  
 講師：工藤浩政氏、鳴海純氏

**中弘**  
 1月9日（金）9時30分～  
 場所：吉崎敏彦氏 園地  
 講師：伴勝也氏、田澤俊明氏、岩崎貴宏氏

**高杉**  
 1月10日（土）9時30分～  
 場所：深沢友也氏 園地  
 講師：齋藤良仁氏、山崎実樹雄氏

#### 津軽りんご市場連絡協議会

1月17日（土）9時～  
 場所：白鳥一成氏 園地  
 講師：葛西伸氏、木村由則氏、松山聡氏